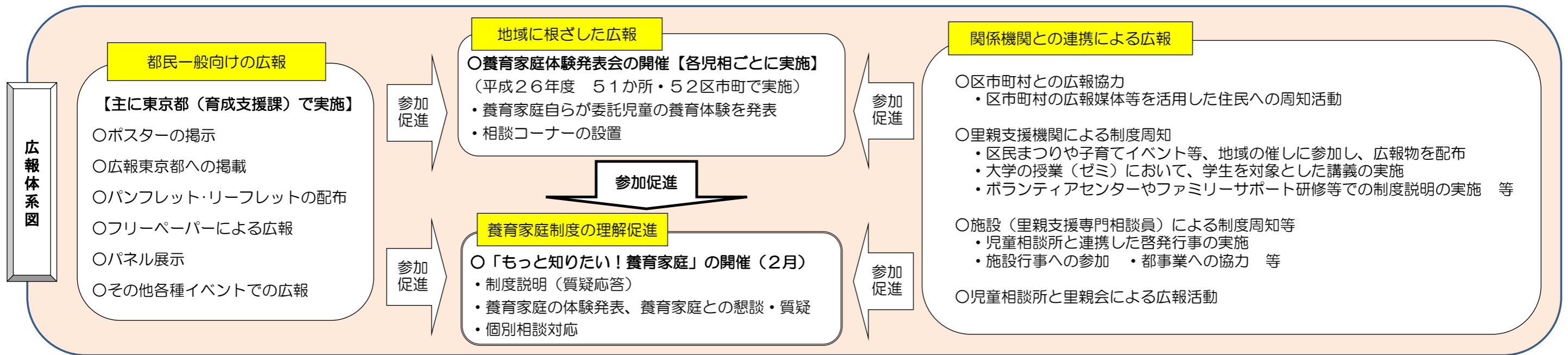


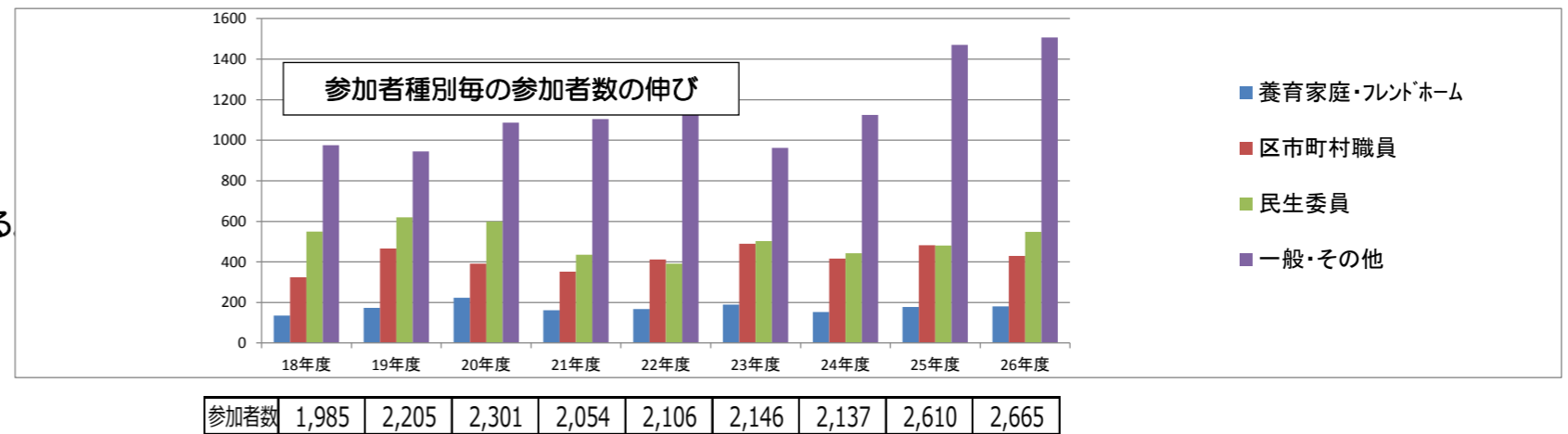
現在の取組

広く都民に向けた広報、地域に根ざした広報を展開し、養育家庭の開拓と制度への理解の促進を図る。



<体験発表会のこれまでの実施状況>

- 実施区市町村は、平成18年度の36区市町から平成26年度の52区市町まで、大幅に増加している。
- 毎年度2000人以上の参加があり、参加人数は年々増加している
- その中でも、一般都民の参加者は大幅に増加しており、参加者の約6割を占める。



検討テーマ

養育家庭の登録数をさらに増やしていくための、より効果的な普及啓発活動

現状・課題

- 児童相談所で実施している養育家庭体験発表会は、一定の効果을あげているものの、実施に至るまでの事務量が多い。
- 様々な機関が普及啓発活動に取り組んでいるが、取組みの連携や戦略的な手法が不足。

検討事項

- 養育家庭体験発表会の実施方法
(例) 区市町村、里親支援機関や施設等との連携強化
- 各機関が連携した普及啓発活動の展開方法
(例) NPO団体や民間団体による広報活動の企画
- 社会的養護に理解のある層にターゲットを絞った普及啓発方法
(例) 元施設職員、保育士、民生・児童委員など児童福祉分野の関係者へのアプローチ